

ユクスキュルノクリサート 著、  
日高敏隆、羽田節子 訳  
『生物から見た世界』

(岩波書店)

生物の行動を考える時、その生物にとって世界はどのように見えているかではなくて、その生物が世界をどのように見ているか、という視点に立って考える必要があるということが、この本では述べられています。

ヤドカリとイソギンチャクの関係や、イヌの尿によるマーキングの他に、ミミズがなぜ木の葉の方向を間違えずに地中に引き込むのかとか、モグラの整然としたトンネルについてなど様々な生物の行動が、興味深く読めることでしょう。

481.78-Uex (F.O.)

山下清海 編著  
『華人社会がわかる本』

(明石書店)

中国は世界から大変注目されており、興味を持っている方々も多いと思いますが、華人についてはどれほど知っているでしょうか。世界の多くの地域に華人は存在し、独特の文化を築いています。

本書では、華人社会の文化や特色、世界各地における華人などについて解説されています。日本やアメリカなどの地域で活躍する華人の歴史や現状がよくわかります。華人のあまり知られていない面も知ることができ、お勧めの書です。

334.522-Yam (N.I.)



コングリーヴ 著、笹山隆 訳  
『世の習い』

(明石書店)

17世紀半ばのロンドン。娯楽を否定する厳格なピューリタニズム(清教主義)により劇場は閉鎖に。16世紀末から約半世紀にわたってこの町をにぎわせたエリザベス朝演劇は活動の場を奪われ、その輝きを失っていました。そうしたさなかの1660年、イギリス演劇に新たな幕開けが訪れます。大陸に亡命していたチャールズ2世の帰国が、イギリス演劇に sophisticated されたフランス演劇の要素をもたらしたのです。本書は、王政復古期の風習喜劇の完成者といわれるW.コングリーヴの代表作で、ウィットに富んだ、粋なセリフが飛び交うロンドンの社交界を舞台に恋愛ゲームが展開されていきます。

932-Con (N.T.)

外務省儀典官室 編集協力  
『国際儀礼に関する12章 -  
プロトコル早わかり』(改訂新版)

(世界の動き社)

プロトコルとは耳慣れない言葉ですが、国際的な儀礼を意味します。国家間で行われる催しに必要な取り決めです。例えば国旗を掲揚する順番、宴会での着席順等です。これらは学生の皆さんには馴染みが無いと思われるかもしれませんが、社会に出ると遭遇することがあります。しかしこのような内容を扱った図書は意外に少なく、本書はそういう意味で貴重な存在と言えるでしょう。外大生の皆さん、一度目を通しておくと、いずれ役に立つかも知れませんよ。

385.9-Koku (T.F.)